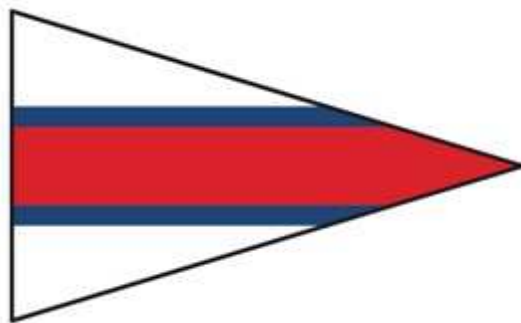


第2回 東京湾カップ

「三崎・横濱レース」



レース公示

NOTICE OF RACE

主催	(公財)日本セーリング連盟加盟団体 外洋東京湾
後援	横浜ベイサイドマリーナ株式会社
協力	JSAF加盟団体外洋三崎、JSAF加盟団体三浦外洋SC JSAF加盟団体外洋湘南、一般社団法人 横浜ヨット協会 横浜市民ヨットハーバー、横浜ベイサイドヨットクラブ 横浜ベイサイドマリーナポートクラブ 横浜ベイサイドマリーナヨットクラブ 横浜ベイサイドクラブ 横浜港ポート天国推進連絡協議会
レース運営	第2回東京湾カップ ヨットレース実行委員会

1) 適用規則

- 1-1 本大会は「2017-2020セーリング競技規則」(以下RRSとする)に定義された規則を適用する。
- 1-2 IRCクラスは「IRC Rule 2018」を適用する。
- 1-3 IRCクラスはレース前に体重測定は行わないが、規則22、4、2証書に記載されたクルー人数×85kgのクルー重量を超えてはならない。【DP】
また、抜打ちのインスペクション並びに体重測定を行う場合がある。
- 1-4 三崎・横濱安全特別規定(公示16参照)
- 1-5 当該帆走指示書、本レース公示を適用する。

2) 参加資格

- 2-1 IRCクラスは2018年度版の有効なIRCレーティング証書(エンドースドまたはノーマル)を有する艇。
- 2-2 大会期間中有効な小型船舶検査証を有する艇であること。
- 2-3 大会期間中有効なヨット保険(賠償責任保険、捜索救助費用を含む)に加入している艇であること。

3) 大会日程

- 3-1 2018年4月29日(日)
- 3-2 スタート予告信号 07:55 予定
- 3-3 全艇のタイムリミット 15:00
これはRRS35、A4、A5を変更している。
- 3-4 表彰式(横浜ベイサイドマリーナ) 16:30 予定

4) 開催場所

- 4-1 横浜ベイサイドマリーナをホームポートとし、相模湾小網代沖から横浜市金沢区沖海面(東京湾)にて開催する。

- 5) 参加料 1艇につき 15,000円
パーティ費 1人 3,000円

6) コースコース

- 6-1 三崎小網代沖スタート⇒城ヶ島の南側通過⇒横浜ベイサイドマリーナ沖フィニッシュ。

7) クラス

- 7-1 クルージングクラス、IRCクラス 参加艇は20艇までとする。
(参加艇10艇以上でレースを行う)

8) 乗員登録

乗員登録リストを艇長会議に提出、提出後の乗員登録リストの変更は、当該レース当日の午前7時までに横浜ベイサイドマリーナのレース本部に提出すること。(FAXでも可)。【DP】

9) 申込

9-1 申込に必要な書類

- ① 参加申込書
- ② 有効なIRCレーティング証書のコピー (IRCクラス)
- ③ レーティング申告書 (クルージングクラス)
- ④ 誓約書
- ⑤ 乗員登録リスト (公示8参照)
- ⑥ 有効な船舶検査証のコピー
- ⑦ 有効なヨット保険証券のコピー
- ⑧ 所定の用紙は外洋東京湾のホームページからダウンロード可能です。
- ⑨ 外洋東京湾ホームページアドレス <https://jsaf.tokyo>

9-2 申込方法

- (1) 所定の参加申込書①に必要な事項を記入し、参加料振込証を貼付け、②又は③を添付し、申込先に電子メールまたはFAXする。
また、9-1④～⑦の書類を艇長会議場に持参すること。【DP】
ネットバンキング等で振込み、振り込み証の無い場合は、振り込み銀行名、並びに日時、金額を記入してFAXすること。
- (2) 申込受付開始日 2018年 3月 1日 (木)
申込締切日 2018年 4月16日 (月)

9-3 振込先

横浜銀行 弘明寺支店 普通 口座番号6068560
JSAF外洋東京湾事務局 会計 望月規矩雄 (もちづき きくお)
(必ず艇名で振込んで下さい)

9-4 申込先及び問合せ先

(財)日本セーリング連盟加盟団体 外洋東京湾

申込み 事務局 E-mail: mail@jsaf.tokyo

F A X 045-567-6939

問合せ toiawase@jsaf.tokyo

10) 艇長会議、安全講習会

2018年 4月21日(土)

横浜ベイサイドマリーナ 2F会議室

16時30受付 17時開始

参加艇の責任者または艇長が必ず参加すること。【DP】

11) 帆走指示書

11-1 レース公示及び参加申込必要書類

3月22日(木) 外洋東京湾ホームページにUP

11-2 帆走指示書 4月20日(金) 外洋東京湾ホームページにUP

<https://jsaf.tokyo>

4月21日(土)の艇長会議で配布する。

12) 得点

12-1 順位は各艇の所要時間にハンデキャップを乗じて秒単位で修正時間を算出し(秒未満は四捨五入)、修正時間の小さい方を上位とし、順位に合わせて得点を付与する。

12-2 修正時間が同値の場合はハンデキャップ数値が小さい方の艇を上位とする。

12-3 得点方法はRRS付則Aの低得点方式とする。

12-4 クルージングクラスは横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレースのハンデキャップ値を参考とし、本大会独自のTCFを使用する。

12-5 クルージングクラスのハンデキャップについての抗議、救済は認められない。

13) 賞 13-1 1位~3位まで。

13-2 クラス分けをした場合は各クラス1位~3位まで。

(各クラス参加艇が5艇未満は1位のみ、10艇未満は1位~2位まで)

14) インспекション

本大会においてレース委員会は、随時インспекションを行うことが

ある。

15) 責任の所在

- 15-1 競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS 4 参照。
- 15-2 主催団体、後援団体、協力団体、その他の大会関係者は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16) 三崎・横濱安全特別規定

- ・浦賀水道航路内を航行してならない。【DP】
- ・東京湾入り口付近の久里浜沖にはアシカ島の暗礁があり、東京湾フェリー久里浜→金谷（千葉県）が就航しているので十分に注意して航行すること。【DP】
- ・自艇と本船、他航行船との間に衝突などの危険な状況に陥る恐れがある場合は早めにエンジン航行して回避しなければならない。【DP】
- ・回避行動による内容をレース終了後レース委員会に書面で提出すること。【DP】
- ・レース当日の風方向によっては、横須賀港沖付近を通過する時は一部の海面で、この付近待機している警戒船（運営ボート）の指示に従って機帆走とすることがある。【DP】
- ・レースを継続することが困難な場合（悪天候、重大な危険が予測される）はコース短縮するか、中止をすることがある。
- ・通信手段として正常に機能する国際VHF、マリンVHFのいずれかを装備し、2台以上の携帯電話を備えていること。【DP】
- ・AIS装置の搭載を強く推奨する。
- ・AIS搭載艇はレース期間中有効に作動させなければならない。【DP】
- ・レース期間中、位置表示ができるセールビジョンを作動させること。【DP】

17) 泊地、その他

- 17-1 本大会のレースの参加料およびエントリー料はいかなる場合も返還しない。
- 17-2 泊地の手続き。
 - ・本大会の4月29日（日）より5月3日（祝）（10：00迄）は許可を得た上で横浜ベイサイドマリーナに係留できる。但し、艇の所有者が責任を持って管理すること。
 - ・艇の搬出入や係留は各艇でマリーナ事務所（下記）と確認の上行うこ

と。

- ・ 台風や低気圧の接近で各マリーナに係留等が危険と判断される場合は、各艇の責任で適当な場所に避難すること。

横浜ベイサイドマリーナ TEL 045-776-7594
FAX 045-776-7596
[http:// www.ybmarina.com/](http://www.ybmarina.com/)

以上